

地域課題解決型学習（PBL）を活用して

■ 実施団体：ブータンの教育魅力化に取り組む

島根県隠岐郡海士町

■ 対象国・地域：

ブータン王国 チュカ県

■ 現地カウンターパート

ブータン王国教育省



■ 協力内容：

- ・パイロット校3校の高校生及び教員のPBLの理解度・共感度向上
- ・PBLの実践を通じたブータン高校生の資質能力向上
- ・PBLを実践出来るブータン教員の育成
- ・PBLの継続実践に向けたツールの作成

■ 団体のこれまでの取り組み：

海士町は人口流出や高齢化、財政難等の課題に対し、移住者や地域資源の活用・ブランド化等を通じた地方創生を実施している。また、島内唯一の高校である隠岐島前高校のカリキュラムに「地域地球学」や「夢探究」等を組み込み「地域課題解決型学習（PBL：Project Based Learning）」を展開。地域内外から生徒が集まる魅力的な高校作りや、地域で生業・事業・産業を作り出せる人材の育成に取り組んでいる。

■ 事業実施の背景：

ブータンでは知識偏重の教育から21世紀型の学びへの移行が目指されているが、未だ暗記型授業が主流である。地域活性化に資する人材育成を行う海士町のPBL手法をブータンに導入することで、ブータン王国の文化や基本理念を尊重しつつ、自立的な経済成長の実現に取り組める若者の育成に貢献することが期待された。

ブータン王国の課題と成果

課題① 生徒の資質能力向上の機会が限定的。

成果② PBL実践を通じ、対象60名の生徒の6割以上に資質能力（主体性、協調性、探究性、社会性等）の向上が見られた。

課題② PBLを運営する教員が育成されていない。

成果② PBL実践を行った対象教員21名のうち、76.5%の教員がリーダーシップ力、ファシリテーション力、メンタリング力、コーチング力のうちいずれか1つの能力が向上した。

課題③ PBLのツールが無い。

成果③ 指導ガイドブックを作成しブータン国内の全県に配布（PBLの教材一覧はオンラインで閲覧可）。

事業の波及効果



地域住民や民間事業者等との連携：生徒・教員らが校近隣の商店や民間企業、地域住民を巻き込みつつゴミ問題のプロジェクトを推進。



他県への波及：パイロット校でPBLを担当した教員が異動先の他県高校で自らPBLクラブを設立。また、他県教育長がPBLに関心を持ち、パイロット校に視察に訪れる等の動きもあり。



海士町への還元：隠岐島前高校の生徒・教員がパイロット校でPBLの事例紹介等を実施。この経験を高校での活動に還元し、海士町のさらなる地域活性化に取り組んでいる。